

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 児童発達支援ひまり 保護者等数(児童数) 11 回収数 11 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	11					
	2	職員の配置数や専門性は適切である	8	1		2		指定配置基準以上の職員は配置しています。保育士をはじめ、専門性を生かし、支援の中で生かせるよう研修を積みながら共通認識を持ち実践できるよう取り組んでいます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11					
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	11					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1		2		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8	1		2		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	4	3	そういった機会があるなら、教えてもらいたいです	
適切な支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	9		1	1		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	9			2		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	3	3	1	4		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10			1		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	10	1				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	5	2	1	保護者同士の連携はほとんどないと思います	参観日や保護者会の開催を通じて保護者の方の交流の機会をとっています。来年度も職員も合わせて積極的に連携して取り組めるよう行っていければと考えています。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 児童発達支援ひまり 保護者等数(児童数) 11 回収数 11 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
供	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	6	2		3		日頃から相談しやすい関係を築けるよう努めたいと思います。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	9	1		1		子ども達とのやり取りの中で思いをくみとれるよう、気持ちを伝える練習を行っていきけるよう、個々に応じて療育を進めていけるよう行っていききたいと考えています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	7	2		2		当法人では、12月～1月にアンケートを実施し、2月に公表を行っています。ホームページに公表しています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	9			2		個人情報の管理には、十分配慮し書類等の管理を行っています。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	8	1	1	1		各種緊急体制のマニュアルをご家族の方にも知ってもらうことの必要性を感じました。来年度、ご家族の方にもご説明させていただければと考えています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	11					
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	9	2				利用しているほとんど子ども達はひまりが、家庭以外で過ごす初めての社会体験の場です。家族と離れ、不安多いと感じます。様々な個々の療育目標を小集団の中で体験し挑戦することで、個々の目標に向かって取り組んでいければと考えています。
	23 事業所の支援に満足している	10	1				ご家族の方と一緒に子どもさんの発達の様子現状の確認や支援について、統一して支援が行えるよう努めます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 放課後等デイサービスcoe

保護者等数(児童数)5

回収数 5

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5	0	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	0	0		感染対策もあり交流の機会を設けていません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1	0	0		ご家族の方との関係を築きながら、支援等の話し合いを丁寧に進めていければと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	0	0		今年度は保護者会を1度開催させていただきました。家族の方との交流の機会を今後も大切にしたいと考えています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	0		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	0		
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	0		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1	0	0		各種緊急体制のマニュアルをご家族の方にも知ってもらうことの必要性を感じました。来年度、ご家族の方にもご説明させていただければと考えています。
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	0		
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 放課後等デイサービスつばさ

保護者等数(児童数)16 回収数 16 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	5	0	0		今は、感染対策もあり、スペースの確保の難しさも感じています。活動やメンバーに応じて環境の設定を工夫し、取り組んでいきたいと考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	0	0		職員の専門性を共有しながら支援につなげる体制を常に考え専門性を高めていければと考えています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	5	0	0		駐車場から室内に入る際の幅の狭さもあり介助が必要になっています。かつ内容によっては、移動するスペースが難しい場合もある事が推測されます。活動の際には、移動できるためのスペースの確保にも配慮できる様に取り組めます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	2	0	0		活動の内容や目標は、個々に応じて取り組みを考えています。放課後等デイサービスの計画にも具体的に記載しご説明できることを丁寧にさせていただきたいと考えています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	2	0	0		月1回子ども会議を開催しています。子どもたち一人一人の意思をキャッチし、要望をかなえられることも大切に活動内容を検討していける様模索しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	9	3	0		感染対策もあり交流の機会を設けていません。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	2	0	0		送迎時や連絡帳でのやり取りはもちろんのこと、ご家族の方に今一度、情報の提供や説明をできているかを振り返りながら、来年度に向けて行っていける様進めてまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	2	0	0	毎回、送迎時や連絡帳等でできています	日々の様子を分析し、次につなげる力になる様な支援を行っています。事業所内だけに完結しない為にも、ご家族の方にも丁寧な説明をいまい度職員も務めていける様行なってまいります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	0	0		ご家族の方との関係を築きながら、支援等の話し合いを丁寧に進めていければと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	3	0	0	保護者会では普段の子どもの様子や家庭での悩み等、話しやすい話題もしてもらえて、こちらも意見をしやすいかたり、勉強にもなって勇気づけられたりもしました 保護者会、参加できてとてもよかったです	今年度は保護者会を1回開催させていただきました。ご家族同士の交流の機会や事業所と家庭との連携ができる様に、様々な交流の機会を設けられるよう設定していきたいと考えています。また、法人が行うイベント等にも気軽に参加いただき、交流する事もできればと考えています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	3	0	0		今年度は、苦情0件でした。苦情があった場合は、皆様に報告させていただく事になっています。迅速かつ適切に対応させていただくよう職員間で周知しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2	0	0	連絡帳に当日の様子を詳しく記入してくれています	個々に応じて子どもたちとのコミュニケーションの支援を行っています。子どもたちの思いを丁寧にくみ取れるよう、ご家庭での様子やご家族の方の意見も聞き、統一した支援ができればと考えています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1	0	0		当法人では、12月～1月にアンケートを実施し、2月に公表を行っています。ホームページに公表しています。
14 個人情報に十分注意しているか	14	1	0	0	お絵描きをしたものを持って帰ってきたとき、紙の裏が利用者の個人情報の一覧が載っていたものがあり、少し気になってしまいました	お絵かき用の紙を置く場所の近くに個人情報等を記載されたシュレッターで処分する用紙を入れる箱が置いてありました。気軽に手が届く場所に置いてあったことが原因でした。情報管理、環境整備、支援等を振り返り、職員会議を開催し、法人へ報告全職員で共有しました。再度、このような事が起きないように法人全体でも努めてまいります。	
非常時等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1	1	0		各種緊急体制のマニュアルをご家族の方にも知ってもらうことの必要性を感じました。来年度、ご家族の方にもご説明させていただければと考えています。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 放課後等デイサービスつばさ

保護者等数(児童数)16 回収数 16 割合 100%

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
寺の 対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1	0	0	定期的に色々な非常時を想定した訓練をしてくれており助かります	非常時の体験が少しでも日常の一部としてできる力がつけばと取り組んでいます。職員同士でも定期的な訓練の中でも新しい発見や支援の見直しがなされています。今後も定期的な活動の一部として取り組んでまいります。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1	0	0	毎日、先生や友達と過ごすことを楽しみにしていま	
	18	事業所の支援に満足しているか	16	0	0	0	子どもの特性に寄り添った丁寧な対応をしてもらっており、満足しています	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 放課後等デイサービスこは

保護者等数(児童数)16

回収数 14

割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
			はい	いいえ			
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	0	外遊びの場所があればよい	自由に遊ぶ外の活動のスペースではないのですが、外遊びを行う前には、安全にできる様環境設定、人員配置を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2	0	0		職員の専門性を共有しながら支援につなげる体制を常に考え専門性を高めていければと考えています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	2	0	0		事業所内はバリアフリー対応の設備が整っています。また、ここに応じて環境の整備も行っていけるよう支援を考えています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	0	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	0	毎日、色々な活動が計画されていて、子どもにとっても良い経験になっていると思います	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	6	1	0		感染対策もあり交流の機会を設けていません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	0	0		送迎時や連絡帳でのやり取りはもちろんのこと、ご家族の方に今一度、情報の提供や説明をできているかを振り返りながら、来年度に向けて行っていけるよう進めてまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0	日々、支援した内容を詳しく伝えてくれるのでありがたいです	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	3	0	0		ご家族の方との関係を築きながら、支援等の話し合いを丁寧に進めていければと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	2	2	0		今年度は保護者会を1回開催しています。今後も家族の方同士の交流や事業所の様子や支援を一緒に考える機会を定期的にとっていければと考えています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2	0	0		今年度は、苦情0件でした。苦情があった場合は、皆様に報告させていただく事になっています。迅速かつ適切に対応させていただきよう職員間で周知しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	0	学校へお迎えに行った際、先生に聞いたことや、放デイであったことを丁寧に伝えてくれます	個々に応じ、意思決定支援を意識しコミュニケーションを行うようにしています。ご家族の方と一緒に支援のことを考えることができるような関係を築きながら、情報の共有ができればと考えています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	0		当法人では、12月～1月にアンケートを実施し、2月に公表を行っています。ホームページに公表しています。
14 個人情報に十分注意しているか	13	1	0	0		個人情報の管理には、十分配慮し書類等の管理を行っています。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	1	0	0		各種緊急体制のマニュアルをご家族の方にも知ってもらうことの必要性を感じました。来年度、ご家族の方にもご説明させていただければと考えています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	0	0	0		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	0		子どもたちが楽しみながら個々の目標に取り組めるよう支援が行えるよう取り組んでまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	13	1	0	0	急な利用願いにも対応してくださりありがたいです 細やかな支援、いつもありがとうございます 一番安心して子供を預けられて、非常に感謝しております	日々の支援をその都度振り返りながら、ご家族や子ども達とともに考えて取り組んでまいります。専門性を常に問いながら今後も療育に取り組んでまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 児童発達支援ひまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		広く、有効に使えるようにしている	
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		利用児に応じて棚やタオル掛けの位置など替え、使いやすくしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		毎日、掃除・消毒を行い清潔を保つようしている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		毎月、研修や必要に応じて、外部研修などに参加している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		子どもに応じて、絵カードや個々のマーク・写真などを使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		固定化になっている部分もあるので、工夫して固定にならないようにする	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		その場や、打ち合わせに出られなかった職員にも伝達するように申し送りしている 日誌に書いて共有している	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 児童発達支援ひまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		連絡帳や会議事録などに残している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		計画に時期にモニタリングと、必要に応じて聞き取りし残している	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9		服用についての確認や、看護師が対応している保護者からの情報提供が主で、必要時意見書で主治医に問い合わせる	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		見学や体験授業など同行している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	8		感染症対策もあり、交流を設定していません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	6		自立支援協議会による研修棟必要に応じて参加しています。職員会議等で報告させてもらっています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		毎日の連絡帳や送迎時に話す時間をもっている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	8	コロナ禍で実施できていない	感染症対策もあり、開催していません。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 児童発達支援ひまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	1	参観日の後、保護者会をもち、保護者同士の交流(顔合せ)や、意見交換などの時間をとっている	参観日の後に保護者会を開催しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		月一回おたよりの発行予定や案内、取り組みの報告など掲載している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		おたより等への名前や写真の掲載についても、保護者の方に説明や確認を行い、徹底している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	感染症対策もあり、法人全体のイベントには参加を呼び掛けている	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		一年に一回は、全体訓練で保護者の方への連絡等を行う練習をしている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		毎月一回避難訓練をしている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	1		(公表用)
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		今年度、対象児はいない	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		毎年、年一回以上は研修をしている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日 職員数 6 回収数 6 割合 100%

事業所名 放課後等デイサービスcoe

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	0			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日 職員数 6 回収数 6 割合 100%

事業所名 放課後等デイサービスcoe

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	0		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0		
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	0		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日 職員数 6 回収数 6 割合 100%

事業所名 放課後等デイサービスつばさ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	6	0	少し狭いスペースであるが、個別で利用する場所ができる様、配慮している スペースは狭いと思うが、児童が使いやすいよう配慮できている	活動に応じて、個々に応じて、環境や設定の工夫を職員が日々専門的な意識を持ち創意工夫できる様な専門性を身につけていきたいと考えています。 また、活動の道具等整理できる様に屋外に倉庫を設置し環境整備していく方向ですすめています。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	月1回の研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	活動内容は、職員間で共有し、進めていけるようにしている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	次月の活動を定める際には、支援者間で話合ったうえで決定している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	職員間で話合う機会を、毎日必ず作っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	その日の振り返りや、子どもの様子など話ができる時間を作っている 毎日、欠かさず行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	日々の記録を丁寧にすることにより、振り返りができるので検証 改善につなげられると考えている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	モニタリングの時には、家庭から丁寧に聞き取りを行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	0			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0			
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	行事予定や下校時間等、変更があれば学校から連絡を入れてもらっている その都度、関係機関に協力をお願いし、適切に行えている		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日 職員数 6 回収数 6 割合 100%

事業所名 放課後等デイサービスつばさ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	0	契約の時に、緊急時は対応の仕方を家庭と確認している 看護師を常駐し、保護者を通して主治医との連絡体制を整えている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	0	6	研修等に参加できていない	児童発達支援センター発信の研修会は開催されていません。研修等の情報提供については、法人内にある研修部会から随時提供させてもらっています。要望があれば研修参加も現場の状況に応じて対応させていただきます。 また、法人内に専門職が勤務しているため、日々の支
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	6	コロナが流行し、交流する機会が持てていない	感染対策もあり交流の機会を設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時や連絡帳を通して、保護者と情報共有できるようにしている お帳面には書けなかったことや、細かいことは送迎時に口頭で必ず伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	0	コロナのため、今年度は開催できていない	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	些細なことでも相談しやすいように、保護者との信頼関係の構築を図っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	毎年、1回以上は実施するようになっているが、今年度はコロナ禍により1回だけの実施となった今年度は12月に保護者会を開催した	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	今年度、苦情はなかった 苦情申し出窓口を設置し、第三者委員会を設置している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	毎月おたよりを発行し、活動の内容や子どもたちの様子、イベントのお知らせなどを発信している	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	発語がむずかしい子どもに対しては、絵カードなどを用いている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	0	昨年度はコロナ禍により実施できなかったが、今年度は実施予定	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0		
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	月に1度、避難訓練を行っている 毎月1回、必ず行っている、持ち出しバックの点検も行っている		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日 職員数 6 回収数 6 割合 100%

事業所名 放課後等デイサービスつばさ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	毎年、1回以上虐待防止についての研修を受けている 人権擁護推進委員により、毎月の報告も行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	身体拘束に関する説明書を作成し、保護者に丁寧に説明を行い、同意を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	契約時に、家庭とアレルギー対応について必ず確認している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	ヒヤリハットがあった時には、その後の話し合いの中で改善策を考えている 毎月の安全対策推進委員会で報告をし、法人全体で共有している	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 放課後等デイサービスこは

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	2	0		職員の専門性を高め、チームワークをもって支援が行えるよう体制を組んでいければと考えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	0		事業所内はバリアフリー対応になっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		PDCAサイクルを意識した業務改善が進められる力を身に付けていければと考えています。研修にも取り入れ進めてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	0		第三者評価に関しては実施しておりません。監事による法人評価を毎年行い、業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	月1回の全体会議の時に、研修の機会を設ける時がある	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	0	スケジュール・絵カードなどを使用	毎日のチェックリスト等を活用し、職員間の共通理解に努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	1		支援部会を事業所ごとに選任し、法人内の各事業所とも相談しながら活動プログラムを考えるようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	0		支援部会や職員間で相談しながら、子ども達の様子を見て支援を考え、工夫できるよう取り組んでいきたいと考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		個別支援計画には、個別活動と集団活動と両方の視点から目標を設定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0		勤務時間が違う職員同士においては、日誌にて確認するようにしています。その日の活動の打ち合わせについては、必要に応じておこなっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	活動の様子や気になることを話し合うようにしている	日誌や連絡帳を確認し、必要に応じて個別支援会議を開催しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	チェックシートを活用している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1	0		年度初めには、ガイドラインを確認しています。支援目標は、個々に応じてガイドラインに沿って支援目標の作成を行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 放課後等デイサービスこは

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	1	現在、医療的ケア児がない	現在は、医療的ケア児の利用はありませんが、ほかの児童においても受診の同行や医療との連携を保護者の方を通じて行っています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	2	対象児がない	今年度の途中で同じ法人内の生活介護事業所に移行する児童がいました。情報を共有するとともに、スムーズな支援に向けて引継ぎを行いました。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	2	コロナウイルス等で行えていない	感染対策もあり交流の機会を設けていません。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	日頃の状況を伝えあっている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	2	職員間で支援方法など確認をしているが、今年度は保護者向けの実施はできていない	コロナウイルス感染対策もあり、開催していません。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0		
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	毎月おたよりを出している	
	35 個人情報に十分注意している	5	0	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	0		子ども達の意思決定支援を大切にコミュニケーションを工夫し取り組んでいます。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	0	地域交流 年に1回実施		
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	月に1回、活動の一環として避難訓練を行っている	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	身体拘束の必要性について、保護者に説明をし同意をいただいている	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 7日

事業所名 放課後等デイサービスこは

	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0		